

2026年世界禁煙デー～禁煙週間の「受動喫煙をなくす願い：イエローグリーンライトアップ」にご協力をお願いします



1. 2025年の世界禁煙デー～禁煙週間の「受動喫煙をなくす願い：イエローグリーンライトアップ(YGL)」では、催しやイベントの一環として、全国各所でライトアップによる啓発がなされました。

https://notobacco.jp/pslaw/YGL2025gazo_koukai.pdf (城や外堀、タワー、スタジアム、観光施設、観覧車、天文館、橋・アーチ・水門・噴水、煙突、灯台、風車、滝、ダム、発電所、ビル・建物(自治体庁舎、公共施設、医師会館、病院・医院、公会堂、美術館、商業施設、企業)、薬局、モニュメント、歴史的記念館、大学・学校、ロケット建築、)

自治体・医師会・団体等によるYGLの主催数は全国で、2021年は7、22年は8、23年は18、24年は55、25年は98(施設数少なくとも335か所)と増え、世界禁煙デーにあわせた催しやイベントの一環として視覚的に訴えかけるツールとして全国的に広がってきています。

2. ライトアップが可能な施設でのご協力をよろしくお願いいたします

・2024年4月から開始された健康日本21(第三次)では、2032～35年度には「望まない受動喫煙のない社会の実現」が掲げられています。標記のライトアップは、全国各地の連携で、受動喫煙防止と禁煙推進を進め、国民・市民の健康寿命を延ばすことを目標とする事業です。

3. 受動喫煙防止と禁煙支援を組み合わせたライトアップでの啓発の意義

- ・本ライトアップは、国民の約85%の非喫煙者を受動喫煙から守る呼びかけにとどまらず、喫煙されている方々に対しても、より楽に確実に禁煙できる禁煙治療や支援を紹介・周知することで禁煙を後押しし、健康寿命の延伸につながる意義ある成果となります。
- ・ライトアップを実施しない場合であっても、展示や催し、広報などで、禁煙相談窓口や禁煙治療外来や支援薬局の紹介を含む広報ポスター等を、可能な範囲で各所(喫煙施設を含む)に掲示いただくなどの啓発や、また(子どもや妊婦のいる)家庭内や自家用車内、公園、公共の場や、路上、職場、飲食店などの受動喫煙：ゼロの目標設定の施策をお願いします。
- ・ライトアップを実施いただける場合には、事前の広報誌やホームページ(HP)等での周知に加え、また世界禁煙デー後も、実施時の画像をHPに掲載いただくなどで、継続的な啓発へのご協力をお願いします。
- ・Instagramに「#イエローグリーンライトアップ2026」のハッシュタグを付けて投稿いただければ、全国各所とも共有できます。また当方宛にも情報提供・連絡いただければ幸いです。

参考資料 ※投光器例：amazonサイト <https://www.amazon.co.jp/s?k=MIKISEN>

(1) 世界禁煙デーのイエローグリーンライトアップ：受動喫煙のない日本への願い。日本WHO協会：目で見えるWHO 2025年秋号 https://notobacco.jp/jstc/who2025au_nogami.pdf

(2) ポスター例：5/31世界禁煙デー 受動喫煙をなくす願い：

イエローグリーンライトアップ <https://notobacco.jp/YGLposter26.pdf>

発信者 (一社)日本禁煙学会(大阪支部・近畿ブロック事務局)

子どもに無煙環境を推進協議会 <https://notobacco.jp/muen2/>
muen□iris.eonet.ne.jp

